



ハウジングファースト

住まいからはじまる支援の可能性

稲葉剛、小川芳範、森川すいめい＝編

定価2808円（本体2600円＋税8%）

山吹書店

☎0422-26-6604

ハウジングファーストとは、その名のとおり、最初に家を提供するということ。本人が望めば継続的な支援も提供する。1990年代に全米で広がり、先進国を中心に世界各国で採用されているサポートシステムだ。対象は、訳あって路上や施設など不安定な場所で暮らさざるを得ない人たち。なかには精神の病を持つ人も多い。これまでのようなステップアップ方式——まずは精神科病院へ入院し、「〇〇ができれば」「〇〇がやめられたら」などの条件がクリアできたらグループホームへ入居し、次の条件がクリアできたらアパート暮らしへ——ではうまくいかなかった人も、サポートがあればいきなりアパート暮らしができることが証明されたのだ。

“嵐”のあとを生きる人たち

「それいゆ」の15年が映し出すもの

特定非営利活動法人リカバリー、大嶋栄子＝著

定価1620円（本体1500円＋税8%）

かりん舎 ☎011-816-1901



「被害体験を背景に、精神的な病や障害を抱える女性」を支えてきた札幌の支援団体「それいゆ」が「ふうふう言いながら多くの人たちに支えられ試行錯誤の援助を展開してきた記録」。当事者、支援者、応援してきたくれた人の声や物語から、15年の歴史とこれからの浮かび上がらせる。

教養主義のリハビリテーション

大澤聡＝著

定価1620円（本体1500円＋税8%）

筑摩書房 ☎03-5687-2680



知の下方修正と歴史感覚の希薄化が進み、読書が消滅しかねない今、教養をバージョンアップさせるには何が必要か。鷲田清一、竹内洋、吉見俊哉と、教養主義の来歴、現在、未来をめぐる対論を収載し、最終章で来るべき教養を展望する。

カモと犬、生きてる

水谷緑＝著

定価1188円（本体1100円＋税8%）

新紀元社 ☎03-3219-0921



実家でカモを飼っていた（今も飼っている）作者。そのうち犬もやってきた。描かれているのは、彼らの日々の生態（性格？）や家族との交流“だけ”なのだが、ワクワクして一気読み。秀逸な観察力と、それを表現するあたったかい画風はまさに精神科看護！

どもる体

伊藤亜紗＝著

定価2160円（本体2000円＋税8%）

医学書院 ☎03-3817-5650



ようこそ、「言葉じゃなく肉体が伝わってしまう」世界へ！歌っている時はなぜどもらないの？自分の名前が一番言いにくいってどうして？本人は苦しくないってほんと？へええ、どもるってこういうことだったんだ、と目からウロコ。でもこの本を読んでも吃音が治るわけではありません。むしろ普通にしゃべれることが不思議に思えてくる。目指せ全員吃音化計画。